

縦断勾配に関する
調査表記入マニュアル

[C020] 縦断勾配

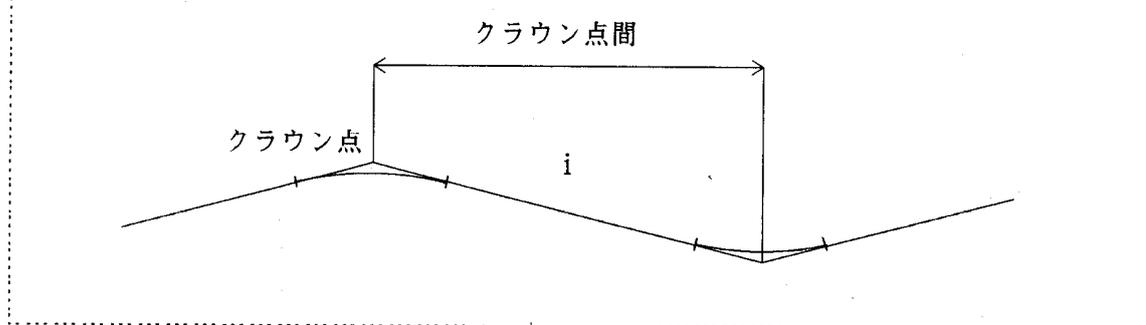
この調査表は、道路の縦断勾配に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- 縦断勾配変化区間とする。 注)

注) クラウン点間を1単位として入力する。



(2) 路線毎の全延長に渡って作成すること。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｈ）、（Ｉ）、（Ｊ）、（Ｎ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（P）百米標自（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。未供用区間の工事については、工事測点を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（Q）距離自（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（R）百米標至（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（S）距離至（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（T）上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

（V）区間長（m）

該当する線形の区間延長を、小数点以下3位まで記入する。

（W）符号C

縦断勾配について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
水 平	0
上 り	1
下 り	2

注)

注) 上りとは、起点から終点に向かって上っていることをいう。

(Y) 勾配 (%)

該当する区間の縦断勾配を、小数点以下1位まで記入する。なお、水平の場合には0.0を記入する。

(Z) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AA) 市区町村自C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(AC) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

〔C021〕 バーチカルカーブ

この調査表は、道路の縦断曲線に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注)
- 路線毎とする。
- 縦断曲線の区間毎とする。

注) 市区町村界と管轄境界が一致しない場合には、関連する事務所及び出張所間で協議してデータを作成することとする。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項を参照のこと。

- (P) 百米標自(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項を参照のこと。

- (Q) 距離自(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基

本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 距離至 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(V) 縦断曲線区分C

縦断曲線区分について、該当するコードを記入する。

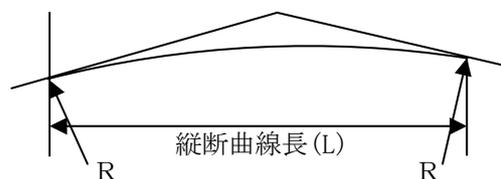
区 分	コード
凸 型	1
凹 型	2

(X) 縦断曲線半径 (m)

該当する区間の縦断曲線半径 (R) を記入する。

(Y) 縦断曲線長 (m)

該当する区間の縦断曲線長 (L) を記入する。



(Z) 縦断曲線区間長 (m)

該当なしとして ‘*’ を記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C020：縦断勾配

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	999	m	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
区間長	9999.999	m	○	○
符号C	半角1文字		○	○
勾配	99.9	%	○	○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C021：バーチカルカーブ

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版	中国版
			SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
整理番号1	半角8文字			○
百米標自	999.9	k m		○
距離自	999	m		○
百米標至	999.9	k m		○
距離至	999	m		○
上り下り区分C	半角1文字			○
縦断曲線区分C	半角1文字			○
縦断曲線半径	99999	m		○
縦断曲線長	99999999	m		○
縦断曲線区間長	9999	m		○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照